

人間社会科学研究科（修士課程）の設置について

島根大学大学院人文社会科学研究科及び教育学研究科臨床心理専攻では、2021年4月に既存の大学院を改組し、新たに **人間社会科学研究科（修士課程）** の設置を予定しています。これまで教育学研究科臨床心理専攻で行ってきた臨床心理士の養成と、公認心理師国家試験受験資格取得への対応は、2021年度より人間社会科学研究科臨床心理学専攻で行う予定です。また、人文社会科学研究科で行ってきた教育職員免許状（専修免許状）取得への対応は、2021年度より人間社会科学研究科社会創成専攻の法政コース、地域経済コース及び人文社会コースで行う予定です。

※以下の内容は予定であり、変更する場合があります。

2021年度「人間社会科学研究科（修士課程）」の学生募集要項は、**2020年9月上旬頃**に島根大学ホームページ上で公表する予定です。

人間社会科学研究科（修士課程）の特徴

1. 個としての「人間」と共同体としての「社会」を统一的に捉える能力を養う

これまでの人文社会科学研究科「法経専攻」「言語・社会文化専攻」、教育学研究科「臨床心理専攻」の諸分野を継承したうえで、新たに、健康科学・精神保健学を加え、個としての「人間」と共同体としての「社会」の両面を捉える能力を養うことを、研究科全体の大きな目標とします。

また新分野として、経営学、アーカイブス学（公文書をはじめとする記録の管理学）を開設し、現代社会の課題に対応します。

2. 今後の人間と社会を支える学問の探究をめざす

グローバル化が進展していく一方で、地域では持続可能性が求められています。人文科学的アプローチ、社会科学的アプローチに、自然科学的アプローチも加え、将来にわたって、人がその人らしく生き、人類が共生していくために必要な研究を深めていきます。

3. 幅広く、かつ深く学ぶための指導体制

主・副指導教員による研究指導、自身の専門分野以外の科目の履修などにより、幅広い知識と多角的な視点を身につけることをめざします。

(新)人間社会科学研究科と(旧)人文社会科学研究科・教育学研究科(臨床心理専攻)の関係

